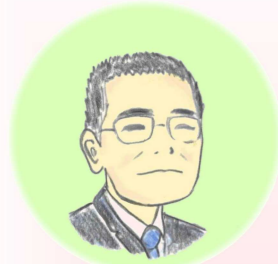


あなたの授業は大丈夫ですか？

～子どもの側から見た道德の時間～



名古屋道德教育研究会会長
陽明小学校長 安田 隆

<道德の時間についての子どもたちの会話>

A男： 嫌だなあ、また当たり前のことを言われる。先週なんか、「主人公が万引きをしたことをどう思いますか」って聞かれて、困っちゃった。だっていけないに決まってるよね。「悪いことだと思います」って答えておいたよ。理由は聞かれなかったけどね。

B子： そうそう。それに先生はね、いつもお利口さんらしい意見を言うと喜んでるわ。だから、私、いつも先生が喜びそうな「主人公がしたことは、いけないと思います」と言ってるわ。

C子： 資料の中の主人公が素晴らしいことをするんだけど、私たちがなんかそんなことできる訳ないじゃんってつい思ってしまうわ。

D男： 僕、一生懸命考えたのに、黒板に何も意見を書いてくれなかった。

E子： 授業の最後になると、これからの心構えみたいなこと聞かれるでしょう。私は、いつも「これからは、〇〇に気を付けて、△△を大切にしていきたい」と答えてるわ。

私には、子どもたちが「もっともっと私たちの心の中に突っ込んで聞いてよ」と、訴えているように聞こえます。

- 一人一人の考えを大切にしているか。
- 考えの理由や訳について練り合い、考えが広まったり深まったりする活動となっているか。
- 主人公の言動と、自分の日ごろの見方・考え方・感じ方と関わらせているか。

さて、あなたの道德の授業は大丈夫でしょうか。

名道研だより

第31号

発行

平成24年6月25日

名古屋道德教育研究会

広報部

meidouken.com

心輝け子どもたち！

平成24年度の研究部会の活動が始まりました。

テーマ研究部会

「^{かなめ}道德の時間」を要とする道德教育の工夫
—「規範」の関連プログラムづくりを通して—

本年度は、子どもたちの規範意識に注目しました。1年間を見通したテーマとして「規範」を設定し、「ルール」「マナー」「モラル」などの視点から、関連プログラムを構成していきたいと考えました。多数のご参加をお待ちしております！

7月18日(水) 18:00～ 教育館
関連プログラム「規範」の道德授業づくり1

9月5日(水) 18:00～ 教育館
授業研究の模擬授業1

8月22日(水) 18:00～ 教育館
関連プログラム「規範」の道德授業づくり2

9月20日(木) 18:00～ 教育館
授業研究の模擬授業2

詳細は、部長 平子 晶規（浮野小）まで！（浮野小 IP:71-2417、502-8675）

授業づくり研究部会

子どもが“ときめく”道德の授業
—自ら考えたくなる指導方法の工夫を通して—

本年度は、子どもの意識のつながりに着目し、子どもが自ら考えたくなるような指導方法の「ポイント」や「コツ」を共有していきたいと思っています。ご参加をお待ちしております！

7月18日(水) 18:30～ 教育館
資料を「人ごとと感じさせない」道德の授業のポイント

9月5日(水) 18:30～ 教育館
ねらいから「ずれる?」「ずれない?」発問のコツ

9月20日(木) 18:30～ 教育館
「一瞬だけ残る?」「ずっと心に残る?」導入のコツ

8月27日(月) 14:00～女性会館

「夏季道德講座」

道德の授業について「学び」「体験する」
スペシャルな講座です。

★ 授業の達人による「道德模擬授業」

★ 道德のプロによる「授業のコツ」

どなたでも参加できます！

詳細は、部長 内山幹夫（神宮寺小）まで！（神宮寺小 IP:71-3117、382-8291）

道德の時間が楽しく、 豊かな時間になるように

名古屋市道德研究会委員長
千種小学校 三浦 文恵



本研究会では、名古屋市の道德研究を支えるため、二つの部会を設けて共同研究を行っています。そして、部会が1年おきに授業研究に取り組んでいます。

本年度はテーマ研究部会が、道德の時間と他の教科領域と関連させた「規範」の授業を提案します。自由と責任、他者への共感と法やきまり、公と私など様々な生活場面で考えさせたいテーマです。また、小学校低学年から中学生のそれぞれの段階でどのような道德の指導が「規範」に有効であるか検証します。

もう一つの部会は、道德の時間について基礎的なことを学びたいという先生方に、道德の時間の指導方法について研究・提案していく、授業づくり研究部会です。この部会では「道德と国語とでは指導法は違うのか。」「授業参観で保護者を巻き込んだ道德の授業をしたいな。」「道德の時間でもっと子ども一人一人の思いを語らせたい。」という部員一人一人のニーズにも応えていきます。

私たちの研究は、道德の時間だけに関わるものではありません。道德の時間の目標を達成するためには、日ごろの学級経営が重要です。授業で、休み時間、特別活動で、学校行事で、家庭との連携の中で、子どもたちの心の成長を感じていくことです。つまり、学校教育全体を考えることに通じているのです。

道德の時間が、教師と子どもが大事にしたい心について語り合い、人生をより豊かにするそんな時間となるようにこれからも研鑽を積んでいきます。興味関心のある方は、ぜひ研究会に顔を出してみてください。

平成23年度発行の会報No.7に、多数の道德授業指導案が収められたCD-ROMがついています。ぜひご活用ください！